

わたしたちが運ぶのは未来です

**運輸省**



# みなと しみず

**発行所**

第五港湾建設局

清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号

TEL 清水<0543>52-4146代

## 清水港

### 「豪華客船のラッシュ」 三月にあいついで寄港

三月には桜前線の便りに乗って清水港にあいついで豪華客船が寄港しました。

三月四日、昭和海運のクルーズ客船「おせあにつくぐれいす」(五、二一八名)旅客定員一二〇名)が寄港し一般見学会を開きました。



▲清水港に寄港した「おせあにつくぐれいす」  
＝清水港日の出ふ頭で

引き続き三月十日には「サンシャインふじ」(七、二六二名)大島運輸、旅客定員一、〇〇〇名)、三月二十一日「新さくら丸」(一七、三八九名)商船三井客船)、三月二十三日「ニューゆうとぴあ」(二一、三七八名)西日本汽船)があいついで寄港し市民の歓迎を受けました。

## 清水港の港湾計画 策定状況について

清水港の港湾計画策定にあたっては、現在各方面の意見を求め調整段階ですが、簡単にこれまでの経過を踏まえて現況を報告したいと思えます。

清水港の長期港湾計画は、平成二年目標の前計画が期限切れとなり、新たな港湾計画策定に向けて清水港整備構想調査委員会が設置されています。これまで、平成元年十二月十九日第一回構想調査委員会、平成二年二月十四日第二回委員会をそれぞれ開いて来たが、その後地元の調整が難航し、中電の清水石炭火力の絡みもあって二年間中断しているのが実状です。

一日も早い時期の開催に向けて、現在、特に最大の権利



▲3月21日寄港した「新さくら丸」

者である清水市漁協への協力要請を鋭意行っているところであります。

なお、去る二月二十五日には清水市漁協の臨時総会が開催されて、条件つきではあるが話し合いのテーブルにすることが議決されるなど前進のための兆しが出て来ました。

清水市漁協が打ち出した条件としては、①沖合人工島計画②興津沿岸部開発③中電石炭火力発電所の三点セットで検討し、併せて長期の漁業振興策を示すこと等が骨子となっています。

また、二月二十六日開会の定例県議会において、斉藤知事が清水石炭火力について、反対の意思表示を行うなど港湾計画策定をめぐる状況がここに来て大きく変化しました。いずれにしても私たち港湾整備に携わるものとしては、港湾計画が前進するように、それぞれの分野で努力する必要があります。

(文責、西藤)



# 健康安全委員会の報告

1/21 本局で健康安全委員会開催

二月二十一日、本局で管内の健康安全委員会（委員長、下川事務次長）が開かれまし  
た。平成三年度の各事務所、本局の実施状況の報告と、四年度の方針を討議するものです。人間ドックを含む、定期健康診断の受診率は百％に近い高率ですが、要精検、治療者に対する、追跡確認など、一部不完全な状況がみられ、

今後の課題となりました。また、年一回の委員会のあり方や、週休二日制、年休消化、超勤についても議論され職員個人の健康管理や、職場環境の改善、工事現場の安全確保などについても、幅広く計画の中に盛り込むことや、職員への PR を行なうことを方針として決めました。

(文責 杉森)

## 長年の勤務大変 ご苦労様でした

卒業  
前経理課長

洞谷 弘行



### 平成3年度ウォーターフロント 開発相談事項 —池谷第二工事課長—

年月日	相手方	相談事項
3・4・10	伊東市	伊東港MTPの事業スケジュールについて
3・4・16	熱海市	熱海港CR構想の具体化策
3・4・29	沼津フォーラム	沼津港構想調査の手法について
3・5・15	沼津市長	沼津港MTP構想事業化へ向け具体的な検討策
3・6・4	御前崎町長	御前崎なぎさプラン事業主体の検討
3・6・4	相良町長	御前崎、相良、榛原各港を包含した広域港湾の整備
3・6・7	ニチメン	新下田ドックの存廃
3・6・11	大井川町長	大井川港MTP構想オンワードマリンの参入
3・6・17	大井川町	大井川港MTP事業実施の検討
3・7・2	オンワードマリン	大井川港マリーナ計画
3・9・5	清水市	清水駅周辺中心市街地再開発事業計画
3・9・25	日本テトラポッド	三保マリンセンター事業の計画について
3・12・17	沼津市	沼津港MTP構想のゾーニングについて
4・1・7	日本テトラポッド	三保マリンセンター事業計画の水域利用について

四月一日付で、四十年余の公務員生活にピリオドをうち第二の人生に入りました。

この清水の地に単身赴任して二年近くの間、公私ともに大変お世話になりました。

清水港は数多くの名勝を管内に持つ事務所であり、赴任前には案内の本を購入するなど、多くを見てまわりたいと思っていました。家庭の事情もあり週末に清水に居なかつたことから、果すことが出来ませんでした。

末筆になりましたが、皆様御健康と、清水港のますますの発展をお祈りして、お礼の言葉といたします。有難うございました。

1/16〜2/15の一月間  
「清水港工事事務所  
開設70周年展」  
於・清水銀座戸田書店

このたび、広報活動の一環として「清水港工事事務所開設70周年展」を開催しました。開催場所の清水銀座「戸田書店」本店は、県内随一の規模を誇り、月二万人程度（一日当たり平均七百人）の来客者があるとのことから、今回の展示期間中、推定延三千人以上の方が目に触れたことにな

り、PR効果が多少なりともあったことは確かです。

また、展示期間中設置した意見等投函箱にも11名の方からさまざまな意見等が寄せられました。ここに意見の一部を紹介させていただきます。

○地域の活性化、環境維持のためによりすばらしい港になるようがんばって下さい。21世紀に向けて、生活も豊かに心も豊かに、夢のある港になるといいですね。

○将来的な構想、とても21世紀に向けてすばらしいなと思いました。

○私達の住みやすい環境の港にしてほしい。

○公共施設を場やしてほしい。（たとえば公園、花だんにいつもお花があればもっといいと思います。）

○パンフレットの問い合わせを何人かのお客様から「もらってもいいか？」と受けた特に「いかざあ清水」、余分があつたら置いたらいいと思う。

○「清水港工事事務所70周年展」を拝見させて頂きました。一般市民の方の中には清水港発展の為にご尽力されているこの様な機関があるという事を御存知ない方も多いためではないかと思えますので、改めて知る機会



▲展示の様相（その1）

を持たたという事は意義深いものと思われま

最近の清水市は活気がなく、生まれた時からこの地に住む者としてとて

その他の意見は割愛させていただきます

最後に、今回の展示会開催にあたりご協力等

(リポーター 西藤)



▶展示の様相（その2）  
— 戸田書店ショーウィンドーで

### 寄稿

#### 定員

— その二 —

元職員 白石 良

八号起重機船の乗員配置は艀よりボイラー担当の操機士、主ウインチ運転の操機長、補助ウインチ兼操船ウインチ運転の操機士、前後操船索操作の甲板長一名甲板士三名、艀に操業長と云う八名である。ジブ固定式であるため総べて船体の移動により作業を行つたものである。

通常の起重機作業の他に船内作業として、船体及び機関の保守点検、小修理、操船索の加工整備、台付ワイヤロープ作成及びシヤツクル類金具整備、通船兼作業船の保守点検整備、杭打時はリーダーハンマーの保守点検整備等があり乗員は甲板、機関の別なく上記作業を行ったものである。

毎朝、乗員全員にその日の

作業内容について説明、作業現場到着前に操船索の位置及び吊環等の確認、船の引廻し方法、投錨位置、台船係留位置等について乗員と打合せ相談、引船の船長、台船の乗員と打合せ依頼、一船団の全員が納得し円滑な運航を計つたものである。

或る時、課長より起重機船を七名で運航せよとの話しがあった。つまり、艀での指揮を補助ウインチ兼操船ウインチを運航しつつ出来るではないかと云うことである。作業位置に入ってしまう陸上だけの転置等では七名でも操船出来る場合もある。だが、操船索の取り終りまでには、通船に二名必要なので船内は六名となり曳船索の引揚げ、操船索の操出し巻取り等手一杯である。尚、船内作業等を考慮すると承諾出来ないのでお断りした。

その日の帰途、バス内で課長より話しが再燃し大喧嘩となったことがある。或る船長から課長に立向かうのは不利だから七名で運航し乗員より大変であると話しが出たら、増員を要求したらどうかとの助言があったが、当時この助言は無視した。以後、この話しは立消えとなり八名体制ろ維持したものである。

### 潜水士と起重機船

方塊等の海中据付作業では潜水士の意中にそつて潜水士の指示通り起重機船を操船し安全に十分注意を要する。

特にシヤツクル等吊具の取り外し時は不意な波等に細心な注意が必要である。

いずれの起重機船でも同様であると思うが荷の移動方向、据付目地間隔調整のための荷の傾け方、概略の据付位置深度までの荷の移動中の潜水士の待機位置等について事前に十分な打合せを行ない作業に取掛かる。

台船乗員、台付要員、起重機船乗員、潜水士、綱夫の呼吸がびたりと合うとスムーズな良い仕事が出来ものである。興津岸壁の方塊据付時のこと。現場に転船後曇り空で海面も暗く状態が余り良くなくなつた。

潜水士に水中状況が悪ければ作業は中止する、状態を見るように依頼する。やれるとこのことで作業開始。

方塊を吊上げ所定の位置に移動、巻下げの指示があり荷を下げていったところコツンと感じ巻下げを停止する。方塊と方塊との融れ合う感触とは違つた。

綱夫に停止の合図を送らせ

た、応答が無いと云う。二度程停止合図を送らせたが応答が無いと綱夫は今にも泣き出しそうな顔。かわれと合図用ロップを受け取り強く停止合図を送る。と、十回以上の合図が返ってきた。通常の合図と異なるので綱夫に聞く、知らないと云う。丁度その時陸上に潜水士が来たので合図を聞く。非常信号だ。

乗組員全員で引揚げる。重たい、潜水服の中に水が入っている。潜水士船に引揚げ潜水服を切り裂き潜水士を救出する。意外に元気であったが病院に行けと工事課に連絡。

潜水服の洩水の原因は、カブトの取り付け金具が折れ曲り隙間が出来たことである。

翌朝、元気な顔を見せありがとうございましてと云う。聞いたところ方塊巻下げ中頭を挟まれ駄目だと諦めてしまったと云っていた。

その時の潜水士の状態を知る由もないが、諦めと同時に一瞬失心状態となり服内に海水が流入し我に返つたのではないだろうか？ いずれにしても元気な顔を見て乗組員一同ホツとしたものである。

反省点は、現場の状態判断の甘さと非常信号まで聞いていなかったことである。

(次号へ続く)

# 工場だより

## 御前崎工場

### 御前崎名物

#### 「ワカメのシヤブシヤブ」

御前崎では3月5日にワカメ漁が解禁となり、港のあちらこちらでワカメ取りをしている人を見かけます。

御前崎のワカメは砂を付けて天日干した砂ワカメが有名ですが、御前崎工場では来客等で懇親会を行うときに、ワカメのシヤブシヤブをします。料理の仕方はいたって簡単で、取ってきたワカメを水洗いし茎を切り取り、食べやすい大きさに切り、軽く湯通ししポン酢で食べます。

御前崎のワカメはやわらかく風味があり、酒のつまみには最高と食した方々の評判です。一度お試しください。

(リポーター 加藤係長)

## —— 下田工場 ——

### 下田名産

#### 「金魚のおぼろ」

一度下田に来た人なら、すぐ「あれか。」と思いますが、この記事を読んで初めての人はい、何だろうと思いつつ読んでいる人の為に耳よりの話を。

それは、体は鮮紅色で、目は黄金色、腹びれの軟条が9、10個、原始的な性質と考えられる眼窩楔骨(眼窩がんか)とは顔の中央部にある一対のくぼみ。つまり眼球が入っているところ、楔(くさび)の存在など高等な魚類ではないらしい。(これは百科事典より参照)

黄金色の目、金色の目と言っているうちに「ギンメダイ」になったか。日本では茨城県以南に分布しているが、伊豆の下田が有名(水場高日本一)。層間は数百メートルの深さにすむが夜間は表層近くに浮上する。深淺面用らしい。ただし、タイと言っても鯛でなく学名も硬骨魚類ギンメダイ科と言つて別である。

深海であるため油味で...一度食してみても、関東では、色が未、目が金色のため祝事に用いられ、喜ばれている。

名古屋のキンさんキンさんではないが魚にもキンメダイ(金目鯛)があるならと調べてみるとあるもんですね。四国の高知沖で底引網で取れる下顎に一対のひげがある魚の名前がギンメダイ(銀目鯛)。味の方はあまり...でかまぼこの原料になるとか。

一度味の旅に来てみては。(リポーター 夏目係長)

## 「寺田主任優勝」 ボウリング大会

二月二十二・二十一日の両日、狐ヶ崎ヤングランドにて、清水地区職員のボウリング大会を行った。

参加者は三ゲームのトータル点数で、各賞を目ざして、熱戦を繰り広げた。

日頃の運動不足と、忘れかけたボウリングに手間取ったのか、アベレージの低い人もあったと思われまます。

優勝は、経理課の寺田主任(ハンディーゲーム三〇点)にさらわれた。

(ハンディーは甘かったかな) 本大会で、二四三点のハイアベレージを工務課の望月技官が出し参加した全員が驚きの声をあげた。



▲ボウリング大会(その1)

「ボウリング場の係員や他のゲームをしていた人達も近づいて来た。」

5	6	7	8	9	10					
20	50	80	110	140	167	187	207	230	243	243

八フレームの時、あまりにも大勢の観衆が注目したためか、プレッシャーを感じ、ガチガチになっていた。

(後日本人に聞いた話したが「あの時はお腹が痛くなり、フロアーに立つのが恐かった」と言っていた。

騒がず、気ままに、自由にやらせたら、二七〇点は出していたかもしれない。

大会は自分の成績に満足した人も、不満の人も居たが、職員相互の親交を深めることができて意義ある大会であったと思われた。

順位は左記のとおりです。

- 優勝 寺田雅江 経理課
- 二位 洞谷弘行 経理課

# 清水港の動き

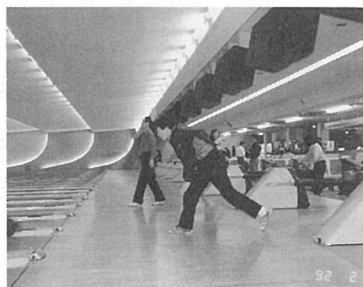
## ＜3月＞

10日 清水港・みなと色彩計画策定委員会(清水)

16日 下田港防波堤設計会議(名古屋)

19日 事務担当課長会議(名古屋)

19日 事務担当課長会議(名古屋)



▲ボウリング大会(その2)

- 三位 石川俊雄 庶務課
- 四位 長尾宗夫 庶務課
- 五位 堀井義一 工務課
- 六位 望月徳雄 工務課
- 飛び賞
- 十位 村上裕幸 工務課
- 十五位 池谷友文 工務課
- 二十位 島田浩幸 工務課
- 二十五位 土尾敏子 庶務課
- 三十位 山田秀夫 経理課
- BB賞 松永 薫 工務課

(リポーター石川芳厚係長)

24日 調査会議(名古屋)

30～31日 資金前渡官吏定時検査(清水)

8日 清水港港湾機関長会議(清水)

8日 清水港港湾機関長会議(清水)

8日 清水港港湾機関長会議(清水)